



じてんしゃスクール

尾張旭市立
in 三郷小学校



2017年10月11日(水)



公立小学校における3段階の出前授業 ＜3段階目 操作技術練習＞

6年生 クラス別実施 28名×3クラス
45分間×3回 運動場

4年生時に＜1段階目 公共マナー/矢橋式＞。5年生時に＜2段階目 交通マナー・ルール/矢橋式＞。段階的に授業を受けてきた6年生。今回は、全員が自転車に乗って学ぶ＜3段階目 操作技術練習＞です。おまわりさんのお話。正しいヘルメットのかぶり方の実演。自転車の左側に立つ、ブレーキは両手で「じわ〜っと」かけるなどの基本動作練習。安全確認動作は「右・左・右・うしろ」。そして、コースの走り方のお手本を見たら、自転車にのります。一本橋（ゴムシート）にスラローム。「止まれ」の標識もあります。自転車は車のなかま。交通ルールを守ってはしります。

「自転車に乗れる＝安全に運転できている」とは限りません。スピードを出して早くゴールするのはレース場で行う競技だけです。道路では、安全に気をつけて自分の命、そして、ほかの人の命を守りましょう。



みんな
自転車にのって
体験！

場所：尾張旭市立三郷小学校 運動場
協力：三郷小学校・愛知県守山警察署交通課・尾張旭市民活動課交通防犯係
プログラム・指導・機材：交通教育 NPO OSCNじてんしゃスクール





守山警察署

見通しの悪い場所での安全確認の仕方。「止まれ」の標識では白線から出ないように停車。そして、見える所までゆっくり進んで、もう一度、安全確認。右・左・右・後ろ。車を運転する人に自転車が見えていない場合もあります。道路では、あわてずに安全確認をすることが大切です。



自転車は車のなかま。「止まれ」の標識では、自転車も止まります。常にブレーキレバーに手をかけて、ブレーキをかける時は両手で「じわ〜っ」と。



発車時は、安全確認。「右・左・右・うしろ。」まっすぐ進んで、ゆっくりとスラロームをする。「止まれ」の標識では、ブレーキで止まる。スピードが出すぎて曲がれない、うっかりして止まらないなどなど。簡単そうでむずかしいですね。

児童の感想（ふりかえりシートより抜粋）

「自分も事故をしたことがあるから、こういうことをしておけば事故にならなかったのかな、と思った。」

「一番知っておどろいたことは、『止まれ』があったら自転車も止まることです。車は止まる、と知っていたけれど、自転車も止まるとは、知りませんでした。」

「今までヘルメットは、かぶっていたけれど、調節していなかったなので、意味がなかった（頭を守れていなかった）ことを初めて知りました。」



ヘルメットの正しいかぶり方

- ①まゆげのあたりまで深くかぶる
- ②ベルトは耳をはさんで三角の形
- ③ベルトの長さは、指が縦に2本入るくらい



写真・文：OSCN事務局 片山



OSCN じてんしゃスクール
TEL 0561-52-3134 (片山)
www.oscn-school.org